

## 総務副大臣、気仙沼市長ほか、10自治体の首長などが参加 「ローカルベンチャー宣言」記者発表のご案内 ～11月7日（木）14時半より神田にて開催～ (事務局 NPO 法人 ETIC.)

地方では人材不足の解消が急務であると言われていますが、その背景には、求人内容と若者が就きたい仕事とのミスマッチがあります。地方に働きたい仕事をつくることで人口減少を抑え、転入者を増やすことができると考えるローカルベンチャー協議会\*1（事務局：NPO法人ETIC.\*2、以下「協議会」）は、参加自治体がそれぞれ様々な政策を実施し、そのノウハウを共有し合ってきました。

たとえば宮崎県日南市では、行政への民間人材の登用により、これまで時間のかかっていた行政判断のスピードを上げ、東京のIT企業15社を誘致し、120人の雇用につなげました。また岡山県西粟倉村は、村に仕事をつくる起業型人材の呼び込み・育成により、人口約1500人の村に12年間で34の事業が生まれ、10年間で延べ181名が移住し、うち約8割が定住。人口減少も抑制され、国立社会保障・人口問題研究所による2020年将来推計を上回る人口を維持しています。

協議会参加自治体全体では、この3年間で18.5億のローカルベンチャーの売上規模増、120件の新規事業創出、192名の起業型人材の地域へのマッチングという成果を生みました。

こうした成果を踏まえて協議会は、地域資源を活用したビジネスを全国各地に増やしていくことが持続可能な地域づくりにつながることを確信し、このたび「ローカルベンチャー宣言」を発表するとともに、さらに多くの自治体の協議会への参加を呼びかけることとしました。

発表当日は「共同宣言」に加えて、協議会参加自治体の各首長から、各地の特徴的な取り組みと成果・ビジョンを語っていただきます。一例として、東日本大震災から8年8か月を迎える気仙沼市長菅原茂氏から、震災以降、人材育成を柱に地元事業者の事業拡大や変革を支援してきた成果として、市内の建設業者がインドネシアへの進出を果たし、同国になかった再生アスファルト技術の普及をしている事例などの報告を行います。

### ■ローカルベンチャー協議会 幹事自治体（カッコ内は登壇予定者）

代表	岡山県西粟倉村（青木秀樹村長）
副代表	岩手県釜石市（窪田優一副市長）
	北海道厚真町（近藤泰行副町長）
	宮城県気仙沼市（菅原茂市長）
	宮城県石巻市（久保智光復興政策部長）
	石川県七尾市（不嶋豊和市長）
	島根県雲南市（速水雄一市長）
	徳島県上勝町（花本靖町長）
	熊本県南小国町（高橋周二町長）
	宮崎県日南市（崎田恭平市長）

※登壇者は公務のため変更になる可能性がございます。

## ■ 開催概要「ローカルベンチャー宣言」記者発表

【日時】2019年11月7日(木) 14:30~15:30(受付開始 14:00)

【会場】ステーションコンファレンス万世橋(神田須田町1-25 JR 神田万世橋ビル 4F)

【内容】①開会挨拶:代表幹事西粟倉村長 青木秀樹氏

②来賓挨拶:総務副大臣 長谷川岳氏

③自治体の首長などによる発表(ローカルベンチャー推進事業の成果、今後の注力ポイント)  
:進行 NPO 法人 ETIC.代表理事 宮城治男

④「ローカルベンチャー共同宣言」発表

⑤質疑応答

⑥フォトセッション

※登壇者は公務のため変更になる可能性がございます。

【主催】ローカルベンチャー協議会 (事務局:NPO 法人 ETIC.)

ご取材ご希望の場合は11月5日(火)17時までに、メール・お電話のいずれかにてご連絡いただきますよう、よろしくお願いいたします。

## ※翌日の8日(金)同会場にて実施の「ローカルベンチャーサミット2019」も、ぜひご取材ください。

ローカルベンチャーサミット2019~新たな事業創出、自治体×企業連携のための作戦会議~

地方発ベンチャーの輩出・育成を目指す「ローカルベンチャー協議会」の10自治体をはじめ、メーカー、運輸・物流、ゼネコン等も交えた各種ステークホルダー間連携の最新事例を共有するとともに、新たに協働を希望するプレイヤーからの提案など、地域をフィールドにした新しい連携・取組に向けて、ともに作戦を考える場を分科会やピッチ&プレスト会議、商談会といった多様な形式で開催・実施。

11/8(金)13:30~19:30(第1部トークセッション、第2部分科会・ピッチ&プレスト・商談会、第3部交流会)

WEBサイト>><https://initiative.localventures.jp/summit2019/>

### \*1 ローカルベンチャー協議会(事務局 NPO 法人 ETIC.)とは

全国10市町村が連携し、地方創生の核となる「地方での起業・新規事業(ローカルベンチャー)」を創出するためのプラットフォームとして、2016年秋に誕生。国の地方創生推進交付金の対象事業として、2020年度までの5年間で新規起業・事業創出の件数176件、新規起業・事業創出による売上増約60.1億円、起業型・経営型人材の地方へのマッチング366人を目指す。現在パートナー・メンバー自治体・企業を募集中。

・ローカルベンチャー協議会幹事自治体

岡山県西粟倉村(代表幹事)、岩手県釜石市(副代表幹事)、北海道厚真町、宮城県気仙沼市、同石巻市、石川県七尾市、島根県雲南市、徳島県上勝町、熊本県南小国町、宮崎県日南市

<https://initiative.localventures.jp/>

### \*2 NPO法人ETIC.(エティック)とは

1993年設立、2000年にNPO法人化。社会課題や都市と地方の関係、日本や世界の未来について考え、未来をつくる人たちのコミュニティづくりを推進している。プログラム参加者はのべ約8,800名。起業家輩出数は約1,500名。全国約70地域のパートナーと連携して、全国各地での起業家支援や中小企業支援にも取り組む。

<https://www.etic.or.jp/>